

外科（消化器外科・乳腺外科）研修概要

1. 診療科コンセプト

“地域の中で頼りになる外科”

“充実した修練ができる外科”

2. 診療科方針

“一人一人の尊厳を大切にした医療の提供”

“断らない、しっかり直す、丁寧な報告”

3. 研修長期目標

外科医としての基本的知識および基本的手技を習得し、消化器外科または乳腺外科のサブスペシャリティー（専門医）となることを目標とする。

4. 研修期間概要

2年間の初期臨床研修を修了した者を対象とする。

卒後3年目～卒後5年目：外科医としての基本的知識および基本的手技を習得。

外科専門医に向けての修練。

卒後6年目以降：サブスペシャリティー（消化器外科専門医、乳腺外科専門

医）に向けての修練。

5. 募集人数

1名（年間）

6. 目標取得技術

- ・消化器外科、乳腺外科の患者に対して正しい診断を行い適切な治療方針を立てることができる。
- ・消化器外科、乳腺外科の典型的な手術を多く経験し助手および術者としての技術を習得する。
- ・消化器外科、乳腺外科領域の臨床研究の意義を理解し、積極的に学会発表、論文発表を行う。
- ・消化器内視鏡検査、膵管胆道系内視鏡検査・治療、IVRの技術を習得する。
- ・腹部救急医療において正しい診断、判断を行い適切な処置、手術を行うことができる。

7. 1年間到達目標（手術術者）

別表参照。

8. 臨床研修内容

- ・外科合同カンファレンス（毎週月曜日、木曜日）
外科、乳腺外科、消化器内科、肝臓内科、血液・腫瘍内科、放射線科、麻酔科、病理部、手術室、臨床検査技術部参加の合同カンファレンス
- ・抄読会（毎週水曜日）
- ・消化器画像病理カンファレンス（毎偶数月）
- ・乳腺画像病理カンファレンス（毎月）

- ・三区合同消化器研究会（毎奇数月）
- ・学会・研究会発表、論文発表などの学術活動（随時）
- ・興味のある領域の技術の研鑽のためには社会医療法人財団白十字会の院外研修奨励制度の利用を推奨している。

9. 指導体制

- ・日本外科学会指導医 2 名
- ・日本消化器外科学会指導医 2 名
- ・外科専門医 7 名
- ・消化器外科専門医 2 名
- ・日本乳癌学会乳腺専門医 1 名

上記の指導医を含む1チーム2～3名構成による研修指導体制

10. 目標取得資格

- ・日本外科学会外科専門医
- ・日本消化器外科学会消化器外科専門医
- ・日本乳癌学会認定医
- ・日本乳癌学会乳腺専門医

白十字病院 外科修練カリキュラムと実績例

過去の修練医(在籍2年間)

の修練実績

術者としての年間目標		の修練実績	
		修練医A	修練医B
胃切除術	1例	1	
胃全摘術	1例	1	
穿孔性潰瘍手術	2例	1	
胃空腸吻合	2例	1	1
結腸切除術	4例	8	4
		3	
結腸半側切除術	1例	1	1
直腸前方切除術	1例	1	2
		1	1
人工肛門造設術	1例	1	1
小腸切除術	2例	44	53
		1	2
開腹癒着剥離術	1例	4	
虫垂切除術	20例	34	23
		58	53
痔疾患手術	2例		2
		11	3
開腹胆嚢摘出術	3例		
		5	5
腹腔鏡下胆嚢摘出術	7例	176	151